

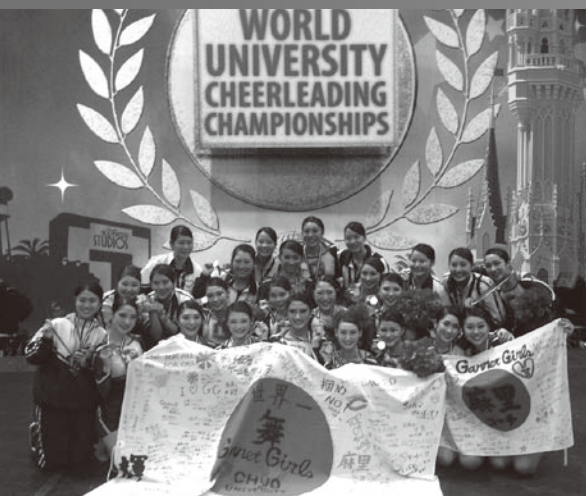
# チアダンス世界大学選手権

# ガーネット

チアダンスの世界大学チアリーディング選手権大会は1月16～18日に米フロリダ州オーランドのディズニーワールドリゾート施設内に各国の予選を勝ち抜いた6チームによる決勝を行い、日本代表の中央大学ソングリーディング部（チーム名・ガーネット・ガールズ=G・G）がPOM部門で優勝した。

（写真提供・中央大学ソングリーディング部）

## 本場米国でも認められたインカレV3の実力



全員集合、日の丸に「世界一 舞」と書きこんだ

# 世界

POM演技はボンボンを使って跳び、回り、跳ねるといった一連のダンスを規定の2分30秒までにまとめる。チーム編成競技のため、抜きんでた一人の力に頼るのではなく、レベルアップした全員の力を結集して“美と技”を競う。

G・Gは白門祭（多摩）でも多くの観客を動員する人気チームだ。昨年11月の全日本学生選手権同部門で3連覇して、実力も兼ね備える。

世界大学選手権の会場に居並ぶ審査員は米国人、カナダ人らで日本勢はいなかった。厳しい目が光ったなかでつかんだ栄冠はG・Gの実力が本場でも認められた証とっていい。

世界の頂上へ参加26人、全員の力で駆け上がった。「精いっぱい演技しました。私たちの演技が認められてうれしいです」と中村磨生子部長。

フロリダからの優勝報告は日本時間19日朝のテレビ電話で始まった。ダイナミックなダンスを披露する大嶋夏実さんが口火を切った。相手は村田麻里コーチ。指導では厳しくなる畏敬の人が泣いていた。画面を通して落涙が分かった。「私たちももらい泣きしてしまっ」（熊澤莉紗子副部长）。演技用の化粧が崩れた選手が相次いだ。

家族には無料通信アプリ「LINE」

G・Gの活動は何かを犠牲にするけれど、  
それ以上に得るものがいっぱいあります。(山崎彩奈)

# ガールズ



競技中の写真。左からボンボンを上げる、右足を上げる、スコーピオン

## 中央大学ソングリーディング部

### ■中央大学ソングリーディング部

名前	学部学年大会時(担当)	名前	学部学年大会時(担当)	名前	学部学年大会時(担当)
中村 磨生子	商3(部長)	大橋 萌子	商4(元部長)	山崎 彩奈	文2(体育館)
岡崎 愛実	文3(副部長)	椎木 萌絵	法2(次期部長)	渡邊 桂子	経2(衣装)
熊澤 莉紗子	法3(副部長)	碓井 美雅子	経2(次期副部長)	安藤 樹乃	法1
上杉 有香	法3(音響)	場勝 あゆみ	商2(次期副部長)	田代 晶子	商1
大嶋 夏実	法3(会計)	岡山 葉奈佳	経2(保健)	内田 麻友	総政1
小糸 美鈴	総政3(Cスク)	小林 礼佳	総政2(Cスク)	加藤 あすか	文1
野村 碧	商3(衣装)	篠原 里佳子	経2(Cスク)	管野 あかり	法1
日野 紗和	経3(ビデオ)	新澤 美沙	総政2(衣装)	小平 江莉	法1
深瀬 希	法3(Cスク)	細川 夏実	総政2(体育館)	高山 奈那	法1
吉野 由花	商3(保健)	前島 郁美	商2(会計)	平澤 日奈子	経1

(注)担当でCスクはCスクエアの利用予約係、体育館も同様

で報告。一人の母親に伝わるとG・G  
連絡網でニュースがアツという間に  
広がる。電子機器をフル活用して感  
動と感謝を表現した。

試合に臨む前、彼女たちは慎重  
だった。起きてから寝るまで楽しい  
ディズニーのキャラクターに囲まれて  
いても、慣れない外国の食事がもと  
で試合出場に支障がないよう、決戦  
までは日本から持参したカップ麺で  
対処した。

細心の注意を払うのは演技で実  
証済みである。G・Gのステージは、指  
先から足の先に至るまでチアダンス  
を楽しむ気持ちが入っている。

3年生主体のチームはこれまでイ  
ンカレV3のほか、国際大会でも活  
躍した。2013年アジアオープン準  
優勝、12年同大会3位、13年のザ  
ダンス・ワールド(米フロリダ州)6位。  
ほぼ満足の競技生活だったと思わ  
れる。

メンバーに感想を聞き、バトンを  
受けた後輩選手に意気込みを聞  
いた。



タワー上でほえる渡邊さん

# G・G世界一 喜びの選手コメント集

## 金メダルとトロフィー

「私がチアダンスを始めた中学1年からの9年間、追いつけてきた一番大きな夢が叶い、金メダルとトロフィーの重みに涙が止まりませんでした。5代目のキャプテンとして結成7年目のG・Gに何ができるかを考え、悩み、走り続けた1年間。最後に最高のご褒美をくれました。一緒に走り続けてくれたメンバー、村田コーチ、友達や関係者の皆さま、そして両親に、心からあふれる感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんの応援を本当にありがとうございました」

(中村磨生子)

「本場アメリカで優勝という結果をいただけたことはもちろん、それ以上に最高の仲間と世界大学選手権大会(WUCC)の舞台に立てたことを誇りに思います。大好きなG・G、支えてくださった多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです！」

(熊澤莉紗子)

「今回WUCCの1位は、1年前に悔し涙を流した後、頑張ってきたご褒美ではないかと思っています。私達3年生はこの大会に出場するため引退時期を伸ばすなど葛藤してきましたが、今までの過程は間違っていなかったと思います。涙がいつまでも止まりませんでした。大学生活を充実させてくれたG・Gに感謝しています」

(岡崎愛実)

## なっちゃん!

「辛かった道のり…私を支えてくれたのは最高の同期の存在と、皆さんからの『頑張っ!!』の声援でした。感謝をうまく言葉にできないので、こ

れからも踊りと結果でお返します!

G・Gをこの機に知った方もお会いした際には、気軽になっちゃん!と声をかけてください」

(大嶋夏実)

「去年より減ったけんかも今年はいとおしくらいみんなのことが大好きです。だからここまで来ることができました。G・Gは永遠に家族。これからも初心を忘れずに、感謝の気持ちを忘れずに、頑張ってくれると信じています」

(小糸美鈴)

「アメリカのヨーグルトはとてもおいしいです。特にオレオが入ったヨーグルトは格別です。世界一が取れたのはこのヨーグルトのおかげ(そう言っても過言ではありません)。最高に“おいしい”1週間でした。ありがとうございました(∩∩)」

(上杉有香)

「中央大学ソングリーディング部と1位で呼ばれ、みんなで抱き合い喜ぶ瞬間が大好きでした。そのためどんな練習でも乗り越えられたのだと思います。当時は未公認同好会という立場でしたが、常に大きな目標に向かって走り続けるG・Gは最高に素敵なチームです！」

(日野紗和)

「周囲の変わらない応援。村田コーチの指導。幾度となく救われたチームメートの温かさ。G・Gというチームの存在。踊ることのできる場所。五体満足なこの体。両親の深い愛情と理解。恵まれた環境に心から感謝しています。ありがとうございました」

(野村碧)

「初めての海外大会でした。国内大会と全く違った雰囲気が新鮮で、と

ても楽しかったです! 世界大会出場に初のディズニーワールドと本当に貴重な経験ができました。この経験を生かして、また頑張ります!!」

(椎木萌絵)

## 憧れのG・Gに参加

「私は高校3年のとき、G・GがWorldに初めて推薦されたのを目の当たりにしていました。それからというもの、とても憧れていたのが自分もWorldに出場できたこと、さらに1位をいただけたことが本当に夢のようです!自分たちだけの力ではありません。周りの人たちに感謝しながら、これからも頑張っていきたいと思います!!」

(碓井美雅子)

「世界大会という夢のような舞台で最高の結果を残すことができ、うれしい気持ちと、ここまで引っ張ってくれた先輩方へ感謝の気持ちでいっぱいです。G・Gだから味わえたたくさんの貴重な経験を忘れず、これからも頑張ります!!」

(渡邊桂子)

「大舞台にG・Gの一員として立つことができ、本当に幸せでした。G・Gを作ってくれた先輩、コーチ、支えてくださる多くの方々への感謝を忘れず、チームを今後につないでいけるよう努力していきたいです!!」

(小林礼佳)



3・4年生サポーターの  
左から深瀬さん、大橋さん、吉野さん

# ガーネット・ガールズ 世界一



メダルをかけ、トロフィーを持つメンバー。  
左から岡崎、中村、熊澤各選手

「世界大学選手権大会という大きな舞台上で好きな先輩たちと踊ることができ、しかも1位をいただけて、本当に最高の思い出となりました。また、あの舞台に戻れるよう頑張りたいです」  
(安藤樹乃)

「優勝という最高の時間を先輩方と共有することができて幸せでした！先輩方につないでくれたバトンはとても重たいですが、しっかりと受け止め、これから先もG・Gが前進していけるよう頑張ります！」  
(田代晶子)

「Garnet・Girlsに入りたくて中央大学にきました！入部したときから楽しみにしていたWUCCにメンバーとして行かせてもらえて、大好きな3年生の最後の大会で、一緒に踊れて本当に幸せでした」  
(加藤あすか)

「高校生のときに出場した全国大会で見たG・Gに憧れて進路を決めました。WUCCまで好きな先輩方と一緒に踊ることができて本当に幸せでした。応援してくださった方への感謝の気持ちでいっぱいです」  
(小平江莉)

「まさか自分が世界大会に出られるなんて思ってもみなかったのでメンバー入りし、アメリカの舞台上で踊れて、とても幸せでした。世界一になったチームとしての自覚を持って、今後につなげていきたいです」  
(岡山葉奈佳)

## 最高最強の卒業旅行

「サポートとしてG・Gのために少しでも貢献できてとてもうれしかったです。本当にメンバー全員の頑張り強い思いが伝わった大会でした！そしてそんな瞬間に立ち会えてとても幸せでした!!」  
(吉野由花)

「何気ない気持ちで入部したチーム。2年半の間にどんどん大きな目標を掲げて、試行錯誤しつつも挑み、多くの人に支えられながら、みんなで乗り越えて、ついに世界の表彰台。最高の同期たち、引退おめでとう！」  
(深瀬希)

「G・Gは未だ駆け出しのチームです。G・Gを作り上げ、つないでくれた先輩方、同期、偉業を成し遂げ、今後つないでいってくれる後輩、そしてコーチ、G・G関係者全てに感謝します。最高で最強の卒業旅行でした!!!」  
(大橋萌子)

「G・Gに入っていると犠牲にするものもありますがそれ以上に得るものが多く、G・Gでしか経験できないことをさせてもらっていると日々感じています。今回本場でしか味わうことができない一生の思い出になりました」  
(山崎彩奈)

「国内大会とは違った雰囲気と、外国チームの迫力ある演技にたくさん

の刺激を受けました。この貴重な経験を生かしてこの後も頑張っていきたいです」

(篠原里佳子)

「学年を越えて仲が良くて本当にとってもあったかいチームです。G・Gよりも楽しそうに踊っているチームは他に見たことがありません。同期全員でアメリカへ行けたことに心から感謝しています！」

(前島郁美)

「大好きな先輩たちが最高の引退を飾れてほんとにうれしい！この結果は大きなプレッシャーでもありますが、みんなで精いっぱいG・Gを盛り上げていきます！love you guys (^O^)」  
(新澤美沙)

「国内大会以上にエネルギーあふれる大会で全てが輝いて見えました。夢のような時間はアツという間でしたが、一生の思い出です。仲間や支えてくださる人たちへの感謝を忘れず、今後も頑張っていきたいと思います」  
(場勝あゆみ)

「世界の舞台上に立ったことで、自分たちの良さを見つめ直せたとともに、たくさんことも学びました。仲間と共に過ごした1週間の貴重な経験を生かし、今後もチームを輝かせるようにしっかりとつないでいきます」  
(細川夏実)



トロフィー2タイプとメダル、表彰状